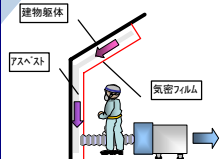
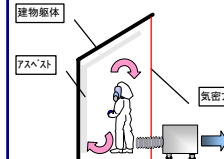
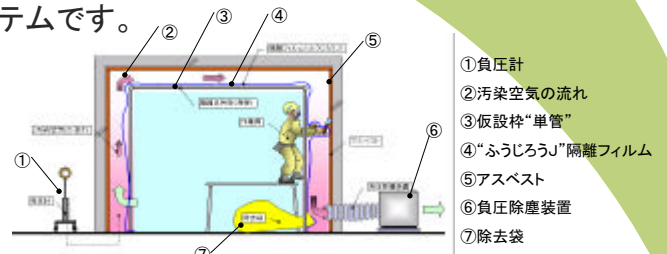


ふうじろうJ

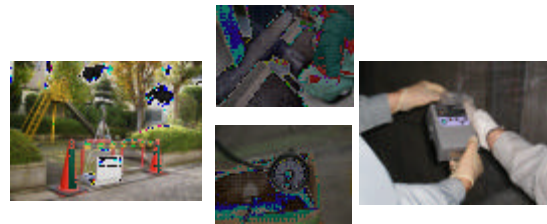
特徴

- ・ 作業員は、高濃度の汚染区域外から作業を行うので、作業員の健康障害を抑制します。
- ・ 汚染区域は必要最小限なので飛散抑制剤等の仮設関連資材を最小限にします。
- ・ レベル1対応となり汚染空気は局所吸引するシステムです。

	ふうじろうJ	一般工法
工法	除去	除去
特徴	 <p>アスベストを部分隔離で除去する工法。隔離面積が小さく、周辺を汚染しません。仮設コストを低減でき作業員への健康障害も防止できる。</p>	 <p>室内を全体隔離で除去する工法。隔離面積が大きく、仮設機材や防護コストが増加する。石綿ばく露量が大きく作業環境が過酷である。</p>
選択基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建物の一部、部屋単位での石綿除去。 ・ 全体隔離ができない環境。 ・ 作業員の石綿ばく露を防ぎたい。 ・ 夏場の熱中症を防止したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建物全体の除去。 ・ 石綿が封じ込め(固形化)状態。
除去コスト	◎	○
工場を停止しない施工	○	△
施工時の石綿飛散率	◎	○
作業性	○	◎
施工時間	○	○
作業環境	◎	△



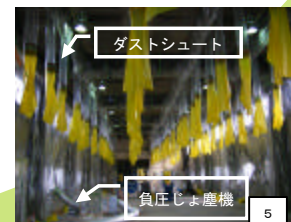
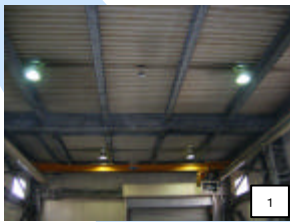
- ① 負圧計
- ② 汚染空気の流れ
- ③ 仮設枠“単管”
- ④ “ふうじろうJ”隔離フィルム
- ⑤ アスベスト
- ⑥ 負圧除塵装置
- ⑦ 除去袋



除去現場での参考数値。減衰値は、約0.5%～0.06%と環境濃度の10f/L (1リッター当り10本)を大きくクリアしております。

施工プロセス

天井システム



壁面システム

